

43 巣箱

鳥の子育てを助け、巣作りを観察できる、自然にやさしい巣箱を製作。



<p>体験のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の風土で育った杉板を使い、ノリやペンキを使用せず、釘とビスで組立て、林の自然に調和した巣箱を製作する。 日本の気候から生まれた焼杉板の手法で、板の表面を少し焼き、風雨にさらされる巣箱の耐久性を高める。 設計図通りに墨付けし、ノコギリ、カンナがけ、釘打ちの基本やドリル、サンダーなどの電気工具の使用法を学び、木材加工の面白さを体験する。 鳥の巣箱づくりを体験しながら、鳥たちが安心して子育てのできる環境について考える。
<p>工業製品に関連する技能</p>	<p>木材加工</p>

①オリエンテーション



講師の紹介と作業手順等についての説明を聞く。

②墨付けと切断



設計図どおりに木片に鉛筆で墨付けをし、ノコギリで切断する。

③巣穴出入り口の穴開け



ボール盤で、鳥の出入り口の穴を開ける。

④組立てとビス留め



側板を組立て、ドライバーで仮留めし、電動ドリルを使ってビスを留める。

⑤止まり木と前板の接合



電動サンダーで角を取った止まり木を前板に釘打ちし、前板を本体にビス留めする。

⑥天板の固定



蝶番で天板を取り付け、金具(ヒートン)で固定する。

⑦穴あけと焼色付け



空気穴、雨水抜き穴、取り付け穴を開け、バーナーで全体に焼色を付ける。

⑧片付けとまとめ



布で磨き、取り付け紐を付けて完成。片付け、まとめをして終了。